



平成24年度卒業生 黒須 百花

楽しみながら体力アップ

私たちの学校の校庭は、上尾の小学校の中で一番広いと聞いています。しかし今まではその広い校庭を上手に活用しているとは言えません。休み時間に外遊びをする人が少なかったのです。

そこで子どもたちがたくさん運動できるようにと、校長先生はじめ先生方が工夫をしてくれました。例えば20分休みが25分休みになったり、一輪車の数が増えたりしたこと。休み時間が長くなったことで、多くの子どもたちが外で遊ぶようになり、クラスみんなが遊ぶことも増えてきました。一輪車も増えて、1・2年生



縄跳び大会(「なかよし班」で2分間の8の字跳びにチャレンジ)

も進んで使っています。

最近、縄跳びブームです。縄跳びが苦手な子でも二重跳びが跳べるようにと、ジャンピングボードを先生方が作ってくれました。このジャンピングボードは大人気で休み時間は順番待ちができるほどです。

さらに全校運動では「なかよし班」という1～6年生の縦割りグループごとに、大縄を使った8の字跳びを練習しています。2月の縄跳び大会に向けて、どの班も練習の成果を出せるように休み時間にも自主的に練習していました。その結果、初めは1分間に15回から20回くらいしか跳べなかったのが、最後には30回以上跳べるグループが増えました。

もちろん私たち児童会でも何か広い校庭を生かした活動ができないか考えました。そして計画委員会を中心に代表委員で話し合い、全校児童で行う「外で元気に遊ぶ集会」を計画しました。普段はなかなか集まることのない全校の子どもたちが休み時間に一方通行鬼ごっこというゲームで、元気がいっぱい走り回りました。

私たちは卒業ですが、次年度の児童会でも上平北小学校の子どもたちが、広い校庭いっぱいを使って遊べる取り組みを進めてほしいと考えています。

(平成25年2月)

Ageo Primary school News

小学校
発

あげお ジュニア 通信

市内各小学校の児童の皆さんが、自分たちの学校の話などを取材し、編集したものをご紹介します。

大石北小学校



6年 佐藤 陽希
6年 橋本 健太
6年 古川 友香

●オリジナルキャラクター決まる
他の学校や地域の人たちにもっと大石北小学校を身近に感じてもらうために、学校の良さを捉えたキャラクターを作ろうということになりました。

児童会で案を募集したところ、1～6年生から数百通もの応募がありました。この中から全校児童の投票で選ばれたのが「くすどりくん」です。羽根が学校のシンボルでもあ



くすどりくん

これから「くすどりくんをどうぞよろしくお願いします。」

●大縄大会

毎年冬の時期になると、大縄大会が行われます。これは1・6年生、2・4年生、3・5年生がそれぞれペアになり、クラスごとに3分間で何回跳べるのかを競います。学年の違うクラスとペアを組むこの競技で良い記録を出すため

には、跳ぶ技術も必要ですが、何よりもペアの子やチーム全体で心を合わせるのが大事です。みんな、心を合わせて頑張った時には、大会が終わっても仲の良い友達になれます。

大縄大会は、ただ跳んだ数を競うだけでなく、心を合わせる大切さや友達との絆など、大切なことをいろいろ教えてくれる行事でもあるのです。

●クラブ発表会

今年の2月にクラブ発表会が行われました。これはそれぞれのクラブの1年間の成果や、4月から新しくクラブ活動に参加する3年生に、その内容を知ってもらうものです。

たくさんクラブがある中で、バスケットボールクラブやソフトバレーボールクラブは、試合の様子やそれぞれの技術を見せてくれました。バトンドンスクラブが、自分たちの作ったダンスを発表した時にはとても盛り上がりました。

クラブ発表会は、各クラブの1年間の成果を発揮できるとても良い行事です。



クラブ発表会

Ageo Primary school News

※次回の「あげおジュニア通信」は、平方北小学校と東町小学校をご紹介します。お楽しみに…。